

お知らせ

▼「風の家」創設三十年・遠藤周作没後二十年記念（講演と座談会）

「井上洋治と遠藤周作」のお知らせ

場所 四谷・幼きイエス会9階

参加費 一〇〇〇円

日時 10月9日（日）13時～15時半

内容 「井上洋治と遠藤周作」をテーマに批評家の若松英輔の記念講演。続いて同じテーマで座談会（司会・山根道公、パネリスト・若松、伊藤幸史神父、山本芳久）。

▼東京・名古屋・岡山・広島・長崎での遠藤文学の講座（講師・山根道公）のお知らせ

①〔東京四谷〕

主催 風編集室

086-227-5665

講座名 遠藤周作と長崎―『沈黙』

日時 9月～2017年2月

（10月休み）

第2日曜日

15時20分～16時50分

②〔名古屋〕

主催 栄中日文化センター

052-263-7111

講座名 没後二十年 遠藤周作の世界

―『深い河』を中心に

日時 10月～2017年～3月

第2日曜日13時～14時半

③〔岡山〕

主催 ノートルダム清心女子大学生

海学習センター

086-252-7045

講座名 遠藤周作と長崎―『沈黙』

から『女の一生』へ②

日時 10月12日、11月30日、

12月14日（水）

14時45分～16時15分

④〔広島〕

主催 NHK文化センター広島

082-242-1151

講座名 遠藤周作と長崎―『沈黙』

から『女の一生』へ②

日時 12月3日、2017年2月4

日、3月4日

第1土曜日15時半～17時半

⑤〔長崎〕

主催 県立長崎図書館講座

095-826-5257

講演名 遠藤周作・長崎・キリスト教

文学

日時 10月2日（日）

13時半～15時半

※詳細・問合せ・申込は主催へ。

◆遠藤周作没後20年記念

朝日カルチャーセンター特別講座

①『侍』を読む（2回）

講師 加藤宗哉

日時 9月14日（水）28日（水）

ともに13時～15時

※受講料は、朝日カル会員6048円、

一般7344円（消費税を含む）。

会場 朝日カルチャーセンター新宿

新宿区西新宿2の6の1

新宿住友ビル

03-3334-1945

新宿駅西口から徒歩8分

※申込方法 お電話でご予約ください。

い。払込用紙をお送りいたします。

❖「会報」の原稿募集

会員の皆さんの原稿を募集します。900字（半ページ分）あるいは、1800字（1ページ分）。

遠藤周作の人と作品に関することなら何でも結構です。

なお、原稿は必ず下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」あてに郵送して下さい。

ふるって御応募下さい。

❖「周作クラブ」会員募集

遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみよう、旅にも参加してみたいと思われる若い人も大歓迎です。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折返し会費振込み用紙をお送りします。

❖お詫びと訂正

本報前号（第63号）

長崎周作クラブ・東満敏さんの「囲碁と多くの人々」の文中、「小説家吉川英治先生の小説「名人」という中で、実際に使用されたという盤石を拝見し」とありましたが、「吉川英治」ではなく「川端康成」が正しい表記でした。ご迷惑をおかけした皆さまにお詫びし、訂正させていただきます。

❖編集後記

▼巻頭は「周作忌」のお知らせですが、林真理子さんは、どんなお話をされるのでしょうか。次号にはその内容が掲載されることと思いますが、「記事」より「話し」が面白い。劇団「樹座」の愉快なエピソードが聞けるに違いありません。私も同じ仲間でしたので（加藤・宮辺幹事も）、今からわくわくしております。

▼軽井沢高原文庫も楽しみます。遠藤先生は、夏、軽井沢の別荘で過ごされるのですが、いつでしたか、軽井沢の夏が暑くて、東京に戻ってこられたことがありました。別荘にはクーラーがないので、「暑くてかなわん」というのです。余程クーラーを買おうかと思っただけで、よく考えたらアホらしいので東京に戻って来たこと……。

▼「原稿発掘」の小文も胸にしみます。もともと、コッペパンは、フランス語とポルトガル語の合成で、日本で作られたパンのようなので、アウシユビッツで、囚人用に出されていたかどうかは疑問です。フランクルの名著「夜と霧」に出てくるとすれば本当の事でしょうが――。（剣）

「周作クラブ」第64号

2016年8月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 田村百合子

■この号の編集者

岡田厚美、一田佳希、大原雄、

近藤恭弘、高木香織、南紀洋子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17

加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL080-1097-1979

FAX03-3421-1521

●次回の会報発行は11月の予定です。